

「飛騨・美濃じまん実施計画」 パブリック・コメント募集意見一覧表

意見総数 31
意見者数 22

番号	項目	ご意見の内容	ご意見に対する考え方	備考
全般的事項				
1	全般	県の発展には、この運動計画が持続されることが望ましいと思いますので、計画、実施、評価、再計画を行い、進めることが必要であると思います。	今回策定した実施計画に基づき、事業に取り組んでいきますが、実施した施策については、毎年度、施策の進捗状況を把握し、成果を白書としてとりまとめ、評価や検証を行い、次の施策に反映していきます。	
2	全般	実施計画案は、内容が多すぎて、実施できるのか疑問である。知名度は、裏金問題で全国に知らしめた。名誉挽回のためにも、観光資源を有効に活用し、今一度具体策を考えるべきではないか。	一昨年発覚した「不正資金問題」が、県政に対する信頼を失墜させたばかりでなく、岐阜県のイメージをも低下させるに至ってしまったことに対し、皆様には心からお詫び申し上げます。県では、皆様からのご指摘を真摯に受け止めつつ、観光産業の発展を誇りの持てるふるさとづくりにつなげるため、実施計画の策定を進めておりますので、ご理解くださいますようお願い申し上げます。 なお、実施計画は、本県における課題を見据え、5圏域ごとの「地域会議」や有識者等で構成する「観光を考える委員会」などでの議論や県民の皆様からのご意見を踏まえ、策定しております。また、実施計画の着実な実行に努め、実施した施策については、毎年度、施策の進捗状況を把握し、評価や検証を行い、次の具体的な施策に反映していきます。	
3	全般	21世紀を踏まえた日本国内、岐阜県内の社会・経済状況、更に日本国民、岐阜県民の考え方、夢、希望等々、全く考慮しない、「絵に描いた餅」。この計画案には反対である。	実施計画は、本県における課題を見据え、5圏域ごとの「地域会議」や有識者等で構成する「観光を考える委員会」などでの議論や県民の皆様からのご意見を踏まえ、策定しております。また、実施計画の着実な実行に努め、実施した施策については、毎年度、施策の進捗状況を把握し、評価や検証を行い、次の施策に反映していきますので、ご理解くださいますようお願い申し上げます。	

番号	項目	ご意見の内容	ご意見に対する考え方	備考
飛騨・美濃じまん				
4	飛騨・美濃じまん (イベント・コンベンション)	岐阜県は全国的にも書道人口が多く、日展書家も多い。まず、書道を県のじまんとして位置づけ、イベントとして全国公募型の書道展を開催し、全国から来県してもらってはどうか。	県民の皆様より集められた「飛騨・美濃じまん」のなかから、専門家の調査・アドバイスを通じて、じまんの育成・支援に取り組み、将来の本県の大きな観光資源となることを目指す「岐阜の宝もの」事業に取り組んでいるところです。じまんの募集では、今年の11月から、県民の皆様や県外、海外の方々から、1,240件の募集をいただき、専門家を交えた選定委員会により選定した「じまん」を、3月15日に「飛騨・美濃じまん発表大会」として発表したところです。今後は、その「じまん」の育成に県民の皆様、市町村、関係団体等と一体となって取り組むとともに、選定されなかったじまんを含め、広くPRしていきます。また、全国からの来県が見込める大規模イベント・コンベンションにつきましては、即効的な経済効果や地域活性化などが期待できることから、積極的な誘致活動や開催支援を行っているところです。今後も引き続き、大規模イベント・コンベンションの誘致活動に取り組み、本県を全国にPRしていきます。	
5	飛騨・美濃じまん	1県民1じまん運動を進めることができれば、どこにあるか知られていない県ワースト6位などと言われない県になると思います。	本県においては、県民参加で「飛騨・美濃じまん運動」に取り組んでおります。この運動は、直接的には、観光交流の拡大を目指すものですが、「観光はみんなの産業」という言葉にあるとおり、すべての県民の皆様が何らかの形で、この運動に参画できるという性格を有しております。知名度の向上には、外部への直接的な情報発信も重要ですが、県民一人ひとりが身近にある様々な地域資源に光をあて、磨きをかけ、魅力を創りだし、高めていくことが、自らの地域への誇りと愛着を深めていくことにつながり、訪れる方への心からの「おもてなし」や本県の知名度向上にも寄与するものと考えております。こうしたことから、地域のさまざまな「じまん」を全国にPRするため、実施計画では、「知名度の向上」を重点目標に掲げ、「飛騨・美濃観光大使」を積極的に活用するとともに、ターゲット、テーマを設定した観光コースなど、観光客のニーズに応えるきめ細かい情報の発信に取り組んでいきます。	

番号	項目	ご意見の内容	ご意見に対する考え方	備考
6	飛騨・美濃じまん	歴史、伝統、文化にあふれる岐阜長良川と金華山の眺望や長良川の鵜飼いを啓蒙する。	県民参加で取り組んでいる「飛騨・美濃じまん運動」を推進するため、「岐阜の宝もの」事業を進めております。これは、県民の皆様より集められた「飛騨・美濃じまん」のなかから、専門家の調査・アドバイスを通じて、「じまん」の育成・支援に取り組み、将来の本県の大きな観光資源となることを目指すものです。じまんの募集では、昨年の11月から、県民の皆様や県外、海外の方々から、1,240件の募集をいただき、専門家を交えた選定委員会により選定した「じまん」を、3月15日に「飛騨・美濃じまん発表大会」として発表したところです。今後は、その「じまん」の育成に県民の皆様、市町村、関係団体等と一体となって取り組むとともに、選定されなかったじまんを含め、広くPRしていきます。	
7	飛騨・美濃じまん	自分のじまんなかなか自分ではわからない。外部の目で見つけてもらうことが大切。例えば、県外の方にモニターになってもらい、意見をもらう。メールで意見をもらうため、ブログを立ち上げたりするのもよい。	ご意見のとおり、県外の方々の目線からみた意見をいただくことで、その素晴らしさを再認識できることがあり、貴重な意見として考えております。こうしたことから、本年度実施しました「飛騨・美濃じまん」の募集では、県外の方を含めた公募により、1,240件の「じまん」の募集をいただくとともに、ブログを活用した「飛騨・美濃じまん」の掲載により、飛騨・美濃じまん運動の推進に努めております。また、飛騨・美濃じまん運動のホームページを開設し、「じまん」の募集も引き続き、受け付けているところです。今後とも、こうした意見を県民の皆さまと一体となって、光をあて、磨き上げ、新たな観光資源として魅力を創出できるよう取り組んでいきます。	
8	飛騨・美濃じまん	岐阜のじまんを見つけだすなら、公募してはどうか。	昨年の11月からの「飛騨・美濃じまん」の募集では、公募により、1,240件の「じまん」をいただいております。引き続き、募集を受け付けているところです。今後は、こうした「じまん」を県民の皆さまと一体となって、光をあて、磨き上げ、新たな観光資源として魅力を創出できるよう取り組んでいきます。	

番号	項目	ご意見の内容	ご意見に対する考え方	備考
知名度の向上				
9	知名度の向上	岐阜の知名度の低いことにまず驚きました。宮崎県並みのパフォーマンスが少し必要かもしれない。観光大使の方に頑張って欲しいと思います。	<p>岐阜県の知名度アップや興味・関心を引きつけるため、観光大使の知名度、注目度を活用することは、たいへん効果的であると考えことから、情報発信やイベント等において、可能な限り観光大使の活用に取り組んでいきます。</p> <p>なお、具体的な取り組みについては、実施計画別冊「情報発信、PR事業の充実」において、観光大使がおすすめする観光コース等を掲載した観光パンフレットの作成など、観光大使を活用した情報発信について、記述していますのでご覧ください。</p>	
10	知名度の向上	基本系は、ホシをつかんでおり大変すばらしい基本だと思います。仕事でほぼ全国を回っていますが、どこの県も同じPRの仕方です。岐阜という名前を知らない他県人が多く、じっくり見れる、学べる所がない岐阜で一泊してもコースに困るという声をよく聞く。年1～2回の大きなイベント、日本中に知られるものをつくる、岐阜県民が岐阜に住んでいて得したというものをつくる。今の中途半端な知名度、知識、認識を打ち破るところから入ってほしい。	<p>本県は、現代の旅行者が求める「癒し」「歴史」「風情」などを感じる観光資源を有しているが、知名度の低さから、積極的に旅行の行き先として選ばれていないという面があります。こうしたことから、実施計画においては、「知名度の向上」を重点目標に掲げ、「飛騨・美濃観光大使」を積極的に活用するとともに、ターゲット、テーマを設定した観光コースなど、観光客のニーズに応えるきめ細かい情報の発信に取り組めます。また、点在する観光資源を「点から線、線から面」へと広げ、新たな魅力を創出する広域観光の取り組みや、産業観光をはじめとする体験型・滞在型観光の取り組みなど、さまざまな観光施策を展開します。</p> <p>なお、知名度の向上、情報発信の具体的な取り組みについては、実施計画別冊「情報発信、PR事業の充実」において、記述していますのでご覧ください。</p>	

番号	項目	ご意見の内容	ご意見に対する考え方	備考
広域観光				
11	広域観光	岐阜県は広くて、有名観光地がバラバラに点在していて、それが不利になっているので、できればであれば、有名観光地の真ん中あたりに新しい老若男女を問わず、集客できる施設(もちろん宿泊可能なもの)を作り、そこからのアクセスをよくする方法を考えればよいと思います。	ご意見のとおり、県内に点在している観光資源を連携させ、誘客に結びつけていくことは、本県における課題のひとつであると考えております。本県では、東海環状自動車道の東回り区間の全線開通や本年中に全線開通予定である東海北陸自動車道など、インフラ整備は着々と進展しております。こうしたなか、観光旅行者の活動範囲の広がりや、多様化するニーズに対応し、観光客の誘客につなげていく必要があります。こうしたことから、観光地を「点から線、線から面」へと広がりのある「広域観光」の推進により、点在する各地域の観光資源を組み合わせた新たな魅力を創出し、積極的にPRしていきます。 なお、広域観光の推進の具体的な取り組みについては、中山道をテーマとした沿線地域との連携事業や美濃ミュージアム街道の取り組みなど、実施計画別冊「広域観光の推進」において、記述していますのでご覧ください。	
海外誘客				
12	海外誘客	公共施設や観光施設等の多言語表記は、日本語、英語、韓国語、中国語(台湾)等の併記が必要だと思えます。	ご意見のとおり、海外からの観光客を誘致するうえで、観光パンフレット、案内表示等を多言語で標記し、外国人にやさしいまちづくりを進めることは、たいへん重要です。こうしたことから、市町村、関係団体等と一体となって、外国人にやさしいまちづくりを進め、海外からの観光客誘致に取り組んでいきます。 なお、実施計画別冊「海外誘客の推進」により、国別の旅行形態に応じた事業展開を図るとともに、関係団体や市町村等を対象とした受入整備研修会の開催や、外国語案内表示、外国語パンフレットの作成への支援など、外国人の受入体制の充実に向けた施策に取り組んでいきます。	
13	海外誘客	セントレアを起爆剤に、国内だけでなく、世界に向けて大交流を進めることが大事。	本県は、産業文化、伝統文化、歴史的建造物、古来より伝わる民俗色豊かな祭りなど、外国人旅行者の嗜好にあった観光資源を有しています。こうしたことから、中部国際空港の開港などインフラ整備を生かした誘客活動や国別の旅行形態に応じた誘客活動に取り組んでいきます。 なお、実施計画別冊「海外誘客の推進」にて、現地メディア、旅行エージェントの招聘や海外国際観光展への出展など、個別の取り組みを記述していますのでご覧ください。	

番号	項目	ご意見の内容	ご意見に対する考え方	備考
情報発信				
14	情報収集	県外の方へのアンケート、県外からの日帰りや宿泊旅行者へのアンケートにより県外の方々からの情報収集をしてはどうか。	ご意見のとおり、県外の方々からみた岐阜県に対するご意見は、観光客の拡大に向けた取り組みを進めるにあたって、欠くことのできないものであると考えております。現在、観光物産展の開催時でのアンケート実施や来場されるの方々から直接ご意見を伺うなど、積極的に収集しております。今後も引き続き、積極的な意見収集に努め、有効かつ着実な政策の実行につなげていきます。	
15	情報発信	中京圏向け誘客番組を制作しても、見る人が少ないと思うし、他の放送局を視聴していると見られない。PRのためなら、CMを作成し、いろんな時間帯にPRした方がいいと思う。もし、番組を制作するなら、やはりゴールデンタイムのドラマで観光地を紹介した方が効果的だと思います。番組の制作費用と効果を考えて予算の活用をしてほしい。	番組制作は、CMなど短時間で伝えられない、地域の取り組みや活躍されている人々などの活動を通して、地域の魅力などを伝える目的で制作しております。また、ご意見のとおり、映画、ドラマなどに本県がロケ地となって、映像配信されることも、たいへん効果的であることから、県におきましても、平成16年に「岐阜フィルムコミッション」を立ち上げ、ロケ誘致の活動に取り組んでいるところであります。こうした活動がこれまでに映画をはじめ、多くのロケ誘致につながっており、引き続き、誘致に向けた積極的な取り組みを進め、本県を大いにPRしていきます。いずれにしましても、ご意見のとおり、限られた予算のなかで、効果的な情報発信ができるよう、マスコミ等の有する情報ツールの活用やターゲット等を見据えた情報媒体の選択など、十分に検証しながら取り組んでいきます。	
16	情報発信	岐阜県にゆかりのあるタレントなどを観光大使として委嘱する際は、県内5つの圏域でそれぞれ委嘱する。そうすれば、もっと詳しく地域の紹介をすることができ、新しい発見などでもできると思います。	岐阜県の知名度アップや興味・関心を引きつけるため、観光大使の知名度、注目度を活用することは、たいへん効果的であると考えています。特に、県外への情報発信では、地域の枠を超えた本県の魅力や「岐阜県」の知名度アップを図るため、本県にゆかりのある方を委嘱し、ご協力をいただいております。こうしたことから、現在においては、圏域ごとでの委嘱、活用に限定した制度とはなっておりませんが、大使の活用にあたっては、柔軟かつ効果的に活用していきますので、ご理解願います。 なお、具体的な取り組みについては、実施計画別冊「情報発信、PR事業の充実」において、観光大使がおすすめる観光コース等を掲載した観光パンフレットの作成など、観光大使を活用した情報発信について、記述していますのでご覧ください。	

番号	項目	ご意見の内容	ご意見に対する考え方	備考
17	情報発信	宮崎県のように行政全般がセールスマンになるとよい。	ご意見のとおり、職員一人ひとりがさらにこの点を強く意識しながら、各種施策に取り組みます。 なお、ご意見を踏まえ、予算によらない創意工夫による取り組みとして、職員がおすすめする飛騨・美濃じまんを名刺やメール差出欄などを活用して、PRしていきます。(実施計画別冊「情報発信、PR事業の充実」に記述しています。)	
18	情報発信	マスコミは、既に有名なところではなく、隠れたよいところを探している。そういうところを掘り起こして、メディアに情報発信していくとよい。	ご意見のとおり、マスコミや出版社などに対する情報提供は、取り上げられやすい話題づくりや旬な情報とともに、何を今、求めているのかを的確に捉える必要があると考えております。こうしたことから、マスコミや出版社等への継続した情報提供を行っていくなかで、マスコミ等とのパイプをより強化し、きめ細かい情報の提供に努め、マスコミ等有する情報発信力を最大限活用していきます。	
19	情報発信 (観光ガイドブック)	県や市町村で各種観光パンフが作成されているが、あまり活用されず、費用対効果の面で問題があると思います。そこで、岐阜県のオールガイドを作成し、県内の小中学生に配布してはどうでしょうか。	各種観光パンフ等の主な活用は、観光案内所や観光施設での設置、イベントやキャンペーンでの配布を行い、PRしております。ご意見のありました、県内の小中学生向けへのオールガイドの作成、配布をはじめとした観光パンフ等の新たな活用につきましては、教育委員会及び市町村とも協力しながら、検討していきたいと考えております。	
20	情報発信	「知名度の向上」は最も重要なことで、マスコミの影響力は大なるものがある。平成24年度岐阜国体までに、その基幹を整えておく必要がある。ツアーオブジャパンのような大規模イベントをもっと各地に誘致して、全国的なマスメディアを通じてPRしていくといいと思います。	大規模なイベント・コンベンションの開催、誘致は、即効的な経済効果や地域活性化を図るだけでなく、会議、研修後の視察旅行などによる波及効果も期待できることから、積極的に誘致や開催支援を行っております。今後も引き続き、こうした取り組みを進めるとともに、効果的な情報発信に努め、全国にPRしていきます。 なお、実施計画別冊「情報発信、PR事業の充実」において、大規模イベントの積極的な誘致について記述していますのでご覧ください。	

番号	項目	ご意見の内容	ご意見に対する考え方	備考
ブランド				
21	ブランド	知名度の向上を目指すには、観光面だけでなく、やはり目に見えるものとして、「ぎふ」を売り込んだ方が効果が高いと思われるので、重点分野に「飛騨・美濃すぐれもの」などの県産品をもっと大きくアピールして欲しい。	観光産業の発展には、知名度の向上などによる観光客の誘客を、観光消費額の拡大につなげることが、重要であると考えております。こうしたことから、実施計画においては、「飛騨・美濃すぐれもの」をはじめとする県産品などの商品やサービスに対する消費者の評価を高め、販売額の拡大とともに、その地域そのものの魅力アップにつなげていく、「ブランド化」を、観光産業の発展のための重要な位置づけとして、取り組んでいきます。	
おもてなしの向上				
22	おもてなしの向上	「県民総ガイド」を提案します。来県者に「一声かける」だけでいいのです。県民の一声が倍になり、3倍になって旅人は二度、三度、岐阜の地を訪れること間違いなし。岐阜県は声をかける国、笑顔を投げかける国、こんな国づくりを。	本県においては、県民参加で「飛騨・美濃じまん運動」に取り組んでおります。この運動は、直接的には、観光交流の拡大を目指すものですが、「観光はみんなの産業」という言葉にあるとおり、すべての県民の皆様が何らかの形で、この運動に参画できるという性格を有しております。また、この運動においては、県民の皆様の「ふるさと岐阜県」に対する誇りと愛着を深めていくことが極めて重要な要素です。地域への誇りと愛着心を深めることで、本県を訪れる方々に対する「心からのおもてなし」につながるものと考えています。 なお、本年度の取り組みを通じて、観光ボランティアガイドが新たに発足された地域もあり、各地域で訪れた方々を直接笑顔でお迎えする「おもてなし」の気運も高まっております。実施計画においても、本県を訪れる観光客に感動や喜びを与え、「また訪れてみたい」と思われる観光地づくりのため、観光客に対する接遇研修や観光ボランティア研修など、受入体制の向上に向けた取り組みを地域と一体となって進めていきます。	

番号	項目	ご意見の内容	ご意見に対する考え方	備考
23	おもてなしの向上 (商品の造成)	観光旅行会社のパンフレットなど見ると、京都、信州、東京の紹介が多く目に入る。もっと旅行会社とタイアップし、旅行パンフに入れてもらい、岐阜県を何回も訪れてもらえる魅力ある観光地にしてほしい。それには、案内、交通、宿泊、ガイドなど、親切心をもっと持つ岐阜県、訪れて大変親切にされたという好感度を高める政策を多く入れてほしい。	<p>本県においては、県民参加で「飛騨・美濃じまん運動」に取り組んでおります。この運動においては、県民の皆様の「ふるさと岐阜県」に対する誇りと愛着を深めていくことが極めて重要な要素であり、地域への誇りと愛着心を深めることで、本県を訪れる方々に対する「心からのおもてなし」につながるものと考えています。また、旅行会社の旅行商品造成については、本年度実施した「ひだ・みのじまんキャンペーン」により築かれた旅行会社との連携をより強化し、大手旅行会社の共通パンフレットを企画作成するなど、PR販売にも努めてまいります。</p> <p>なお、おもてなし向上における個別事業の取り組みについては、実施計画において、本県を訪れる観光客に感動や喜びを与え、「また訪れてみたい」と思われる観光地づくりのため、観光客に対する接遇研修や観光ボランティア研修など、受入体制の向上に向けた取り組みを地域と一体となって進めていきます。</p>	
24	おもてなしの向上	旅行とは、物見遊山の旅行の時代は過ぎたと思います。旅は、文化とそこに生きている人の心につながるのが本当の目的だと思います。応対する心を磨けば、リピーターを呼び込むことができると思います。私の経験では、素朴な心に触れると余韻が残り、また行きたいと思えます。これが他との競争に勝つ要因と考えます。	<p>本県においては、県民参加で「飛騨・美濃じまん運動」に取り組んでおります。この運動は、直接的には、観光交流の拡大を目指すものですが、「観光はみんなの産業」という言葉にあるとおり、すべての県民の皆様が何らかの形で、この運動に参画できるという性格を有しております。また、この運動においては、県民の皆様の「ふるさと岐阜県」に対する誇りと愛着を深めていくことが極めて重要な要素です。地域への誇りと愛着心を深めることで、本県を訪れる方々に対する「心からのおもてなし」につながるものと考えています。</p> <p>なお、おもてなし向上における個別事業の取り組みについては、実施計画において、本県を訪れる観光客に感動や喜びを与え、「また訪れてみたい」と思われる観光地づくりのため、観光客に対する接遇研修や観光ボランティア研修など、受入体制の向上に向けた取り組みを地域と一体となって進めていきます。</p>	

番号	項目	ご意見の内容	ご意見に対する考え方	備考
やさしいまちづくり				
25	やさしいまちづくり	今後、高齢化、定年後の生活者が増えることは間違いありません。間伐材によるバス停の腰掛けなど、高齢者等にも配慮した観光県にしてほしい。	バリアフリーなどのやさしいまちづくりについては、観光王国飛騨・美濃の実現に向け、欠くことのできないものと考えております。県におきましては、市町村や団体等が県産材を利用した観光案内施設、バス停、公衆トイレなどを整備、設置する場合や、鉄道事業者が駅のバリアフリー化事業を実施する場合に支援を行うなど、高齢者、障害者をはじめとする利用者にやさしいまちづくりに向けた取り組みを推進していきます。	
推進体制				
26	推進体制	第三者、外部の意見が必要ではないでしょうか。できれば県外の方々からの意見・感想も参考になるのではないのでしょうか。県外の方も会議などの委員にしてはどうでしょうか。	ご意見のとおり、幅広く知識を有する方々の意見を伺い、施策に反映していくことが重要であると考えております。観光施策についてご意見をいただく「飛騨・美濃の観光を考える委員会」においては、県内外の観光、交通、マスコミ、NPO、まちづくり、商工・経済団体、学識経験者などの方々からなる構成メンバーにより、推進していくこととしています。	
その他				
27	その他	松井屋酒造資料館(富加町)をもっと取り上げて欲しい。	松井屋酒造資料館は、300年ほどの歴史があり、当時の様子がそのまま残る魅力ある観光資源であると認識しております。また、地域の交流拠点施設や産業界、自治体が協働して設立した美濃ミュージアム街道協議会に参加し、積極的な活動を展開され、訪問者からは「説明が丁寧で、楽しい施設」という声も聞かれます。県においても、こうした積極的な施設と一体となり、本県の魅力のPRに努めてまいりますので、ご理解・ご協力をお願いします。	
28	その他	観光と他産業との組み合わせによるインフラ整備が欠かせない課題がある。温泉地等の施設料金が安いのか、アクセスは安全が確保されているか、地震対策は万全か、などの問題を各地区毎にブロック別に検討すべき。 山の国岐阜では、森の恵みと観光との同時進行は一部の地区を除き困難な一面もあり、行政も縦割り行政から脱皮し、横に広い行政に取り組むべきであると思う。	観光産業を本県の基幹産業にするには、各地域の実情を踏まえながら、様々な分野と連携し、総合的に取り組む必要があると考えております。 例えば、観光振興を進めていくうえで、一つの課題として、環境問題への対応ということがあります。環境の悪化から観光資源を守っていくとともに、環境保全の取り組みを観光として生かすことで、多くの方々に環境について理解をしていただくことも必要であると考えております。体験型観光であるエコツアーやグリーンツーリズムなどもこうした効果があることから、行政においても、すべての分野において、横の連携を密にして取り組んでいきます。	

番号	項目	ご意見の内容	ご意見に対する考え方	備考
29	その他	近年、観光の目的が物見遊山から、自然と親しむ体験、歴史探訪、学習等に観光の目的が変わってきた。コストも優先する。岐阜県は、前述の観光資源が極めて豊富であるので、県の観光資源と安価な旅館をセットで県がPRし、宣伝料を旅館から徴収する。宣伝料を徴収することにより、観光名所等のPRも大体的に行うことができる。	ご意見のとおり、近年、旅行者の観光に対するニーズは多様化していることから、ニーズの把握を年代、性別ごとに把握し、ターゲットやテーマを設定したきめ細かい情報の発信に取り組んでいきます。また、民間施設等との連携については、観光事業者、団体等から組織する岐阜県観光連盟とも、引き続き連携しながら、多様化するニーズに対応した取り組みに努めていきます。	
30	その他	地場産品等(農産品等)を、観光施設や販売施設に長期的、安定的に供給するためには、植え付け、収穫の時期を分散することが必要であり、生産団体等の管理生産が必要と思います。	県内産地では、これまでも県産農産物の安定生産・供給、長期出荷のための技術開発、施設・機械の導入などを進めており、県としても、こうした産地の取組を促進するために、温室やビニールハウス、収穫機械などの導入を支援しております。また、朝市など直売所の安定運営などのための情報交換の場も設置しております。ご提案にあるように、今後も産地における生産・出荷拡大の取組を支援していきます。	
31	その他	ホテル等の宿泊施設は、アジアの経済動向も踏まえ、廉価で高品質のサービス提供の検討が必要であると思います。	廉価で高品質のサービス提供は、たいへん重要なことであることから、ご提案内容を関係団体等にお伝えします。	